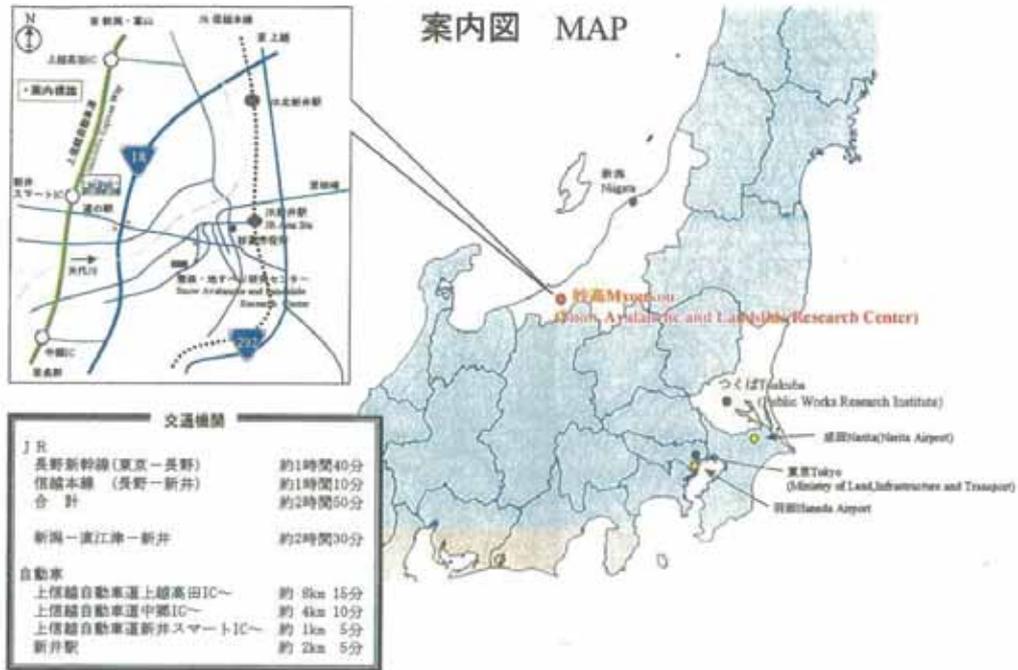




雪崩危険箇所
(-799 鶴ノ湯温泉)

(独) 土木研究所土砂管理研究グループ雪崩・地すべり研究センターについて



① 雪崩要因の標高依存性と発生予測に関する研究
Research on the avalanche factor in height difference and prediction of avalanche occurrence

雪崩発生斜面における気象・積雪状況の標高による特性や雪崩発生因子については現在でも不明な点が多く、雪崩の発生予測が難しいのが現状です。本研究では、低地及び高地の試験地において、雪崩発生斜面を含む標高別の気象・積雪状況を把握しつつ、発生した雪崩の形態などを詳細に分析することにより、雪崩発生因子の抽出と予測手法の精度向上を図ることを目的としています。

雪崩観測地(新潟県糸魚川市権口) →
(写真中央部が、雪崩発生区である権現岳)



② 雪崩発生予知と動態に関する研究
Research on the prediction of avalanche occurrence and mechanism of avalanche movement

流下する雪崩そのものを直接観察できる機会はほとんどなく、運動機構には多くの不明な点が残されています。このため、CCTVカメラによる雪崩映像観測を行うとともに、雪崩が発する震動による雪崩発生検知、気象・積雪観測を集中的に行い、雪崩発生予知手法の開発・雪崩現象の解明を行っています。また、流下している雪崩の内部や雪崩発生前の積雪層の挙動を検知する手法の検討も併せて行っています。



↑ 雪崩の映像観測(長野県白馬村八方尾根)
(写真中央部が、流下する雪崩)

